

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成22年2月18日(2010.2.18)

【公表番号】特表2009-522462(P2009-522462A)

【公表日】平成21年6月11日(2009.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2009-023

【出願番号】特願2008-548862(P2008-548862)

【国際特許分類】

D 0 4 B 21/20 (2006.01)

【F I】

D 0 4 B 21/20 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月22日(2009.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細長い部材を保護するための細長いセルフカールするスリーブであって、前記スリーブは、

前記スリーブの長手軸に沿って延在する対向する自由端を有する編んだファブリックを含み、前記自由端は、前記細長い部材を受取ったり取除いたりするために、重複した関係で付勢され、外から与えられた力の下で分離可能であり、さらに

前記長手軸に沿って縦系方向に延在するチェーンステッチを形成する第 1 の系を含み、前記チェーンステッチは前記ファブリックの 1 つの面に主に形成され、さらに

前記自由端間の横系方向に沿って延在するレイインステッチを形成する第 2 の系と、

前記自由端間の横系方向に延在するトリコットステッチで張力下で編んだモノフィラメントの第 3 の系とを含み、前記トリコットステッチは、前記ファブリックの前記 1 つの面に対向する別の面に主に形成され、かつ前記ファブリックを前記張力下で前記長手軸のまわりにセルフカールした構成に付勢する、セルフカールするスリーブ。

【請求項 2】

前記チェーンステッチは閉チェーンステッチである、請求項 1 に記載のセルフカールするスリーブ。

【請求項 3】

前記トリコットステッチはオープントリコットステッチである、請求項 1 に記載のセルフカールするスリーブ。

【請求項 4】

前記縦系および横系ステッチで編んだフィラメント部材をさらに含み、前記フィラメント部材は前記基板の前記 1 つの面に主に位置決めされる、請求項 1 に記載のセルフカールするスリーブ。

【請求項 5】

前記長手軸に沿って縦方向に延在するチェーンステッチを形成する別の系をさらに含む、請求項 1 に記載のセルフカールするスリーブ。

【請求項 6】

前記第 1 の系の前記チェーンステッチは、外周で間隔を置いたモノフィラメントの畝を形成するために少なくとも部分的にモノフィラメント系で編まれる、請求項 1 に記載のセ

ルフカールするスリーブ。

【請求項 7】

前記第 2 の系の前記レイインステッチはマルチフィラメント系で編まれる、請求項 6 に記載のセルフカールするスリーブ。

【請求項 8】

編んだ縦系ステッチおよび複数の横系ステッチを有するセルフカールするスリーブは、前記縦系ステッチを形成する第 1 の系のチェーンステッチと、前記横系ステッチの 1 つを形成する第 2 の系の第 1 のトリコットステッチと、前記横系ステッチの別の 1 つを前記スリーブの 1 つの面で主に形成するモノフィラメントの第 2 のトリコットステッチとを含み、前記第 2 のトリコットステッチは張力下で編まれ、前記スリーブを中央スペースのまわりにセルフカールした構成に付勢する、セルフカールするスリーブ。

【請求項 9】

熱可溶性の系、電氣的に導電性の系、熱により絶縁する系、耐摩耗性の系、およびこれらの組合せから構成されるグループから選ばれた別の系をさらに含む、請求項 8 に記載のセルフカールするスリーブ。

【請求項 10】

前記第 1 の系はモノフィラメント系とマルチフィラメント系とを用いて編まれ、前記モノフィラメント系は前記スリーブの長さに沿って延在する外周で間隔を置いた畝を形成する、請求項 8 に記載のセルフカールするスリーブ。

【請求項 11】

複数の縦系ステッチおよび複数の横系ステッチを有するセルフカールする編んだスリーブは、前記縦系ステッチの 1 つを形成する第 1 の系の第 1 のチェーンステッチと、前記縦系ステッチの別の 1 つを形成する第 2 の系の第 2 のチェーンステッチと、前記横系ステッチの 1 つを形成する第 3 の系のレイインステッチと、前記横系ステッチの別の 1 つを形成するモノフィラメントのトリコットステッチとを含み、前記トリコットステッチは前記スリーブの 1 つの面に主に位置決めされ、前記スリーブを中央スペースのまわりにセルフカールした構成に付勢するために張力下で編まれる、セルフカールする編んだスリーブ。

【請求項 12】

前記第 1 の系はマルチフィラメントである、請求項 11 に記載のセルフカールするスリーブ。

【請求項 13】

前記第 2 の系はマルチフィラメントである、請求項 12 に記載のセルフカールするスリーブ。

【請求項 14】

前記第 2 の系はモノフィラメントである、請求項 12 に記載のセルフカールするスリーブ。

【請求項 15】

対向端間に延在する長手軸を有するセルフカールするスリーブを製作する方法は、複数の縦系および複数の第 1 の横系を合わせて縦編みするステップと、縦編みステップ中に前記縦系および前記第 1 の横系で複数の第 2 の横系を挿入するステップとを含み、前記第 2 の横系は前記第 1 の横系を前記長手軸のまわりにカールさせる、方法。

【請求項 16】

前記縦系のうち少なくともいくつかのためにチェーンステッチを用いるステップをさらに含む、請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

前記第 2 の横系にトリコットステッチを用いるステップをさらに含む、請求項 16 に記

載の方法。

【請求項 18】

細長い部材の保護のためのセルフカールするスリーブを縦編み機で製作する方法であって、

縦編機を出ると互いに重複するよう配置された対向する自由端を有するセルフカールするファブリックを構築するために3本の糸を合わせて縦編みするステップと、

前記3本の糸の第1の糸をモノフィラメントとして与え、前記モノフィラメントを前記自由端間の横糸方向に延在するトリコットステッチを用いて張力下で編むステップとを含み、前記トリコットステッチは、前記スリーブの内表面を形成する前記スリーブの面に主に形成される、方法。

【請求項 19】

前記3本の糸の第2の糸をマルチフィラメントとして与え、前記スリーブの外表面を形成するために前記マルチフィラメントを編むステップをさらに含む、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

前記第2の糸に閉チェーンステッチを用いるステップをさらに含む、請求項 19 に記載の方法。

【請求項 21】

前記 3本の糸 の第3の糸をマルチフィラメントとして与えるステップをさらに含む、請求 19 に記載の方法。

【請求項 22】

前記3本の糸で第4の糸を編むステップをさらに含む、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 23】

前記4本の糸のうち2本にチェーンステッチを用いるステップをさらに含む、請求項 22 に記載の方法。

【請求項 24】

前記4本の糸のうち1本にレイインステッチを用いるステップをさらに含む、請求項 22 に記載の方法。